進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って 活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例①

小学部6年/遊びの指導

『お客さんを意識して、注文通りの料理を作って繰り返し お店屋さんごっこをしよう』

1. 子どもの実態と望む姿

- ・対象児童は、小学部6年生の男子(学級は5年生3名、6年生3名の複式学級)
- ・これまでに取り組んできたごっこ遊びでは、準備からすすんで取り組み、自分から繰り返し何度も遊ぶ姿が見られている。
- 本題材では、

お客さんの注文を聞いて、注文通りの料理に合う材料や調理法で料理を作って遊んでほしい と考えた。

2. 授業のポイント

ポイント1 お客さんの食べたいものを作る楽しさを味わい、自分から繰り返し遊ぶための工夫

≪どんなお店屋さんごっこの遊び方にするといいかな?≫

- 〇ルールの検討
 - お客さんの注文通りの料理を作る楽しさが実感できる仕組みにする
 - ※お客さんの注文にぴったりの料理を作って出すと、お客さんから星3つもらえる仕組みにした





〇遊び方の検討

- 毎回、自分で作り方を工夫して楽しめる遊び方にする
- ※お客さん役の教師は、注文票を使って『調理方法』『材料』 『リクエスト』の3つの項目から注文する 例:『あげもの』『にく』『おおもりでおねがいします』

〇教具:レシピブックの検討

- 自分で作るものをイメージする手助けとなるもの
- ※『あげもの』『にもの』のページに分け、それぞれに料理の 写真を載せたレシピブック。作りたいものを決める時や作 るものを決める時、作った後に確認する時に参照するもの

授業構想チェックシート 内容チェック 教材の工夫①

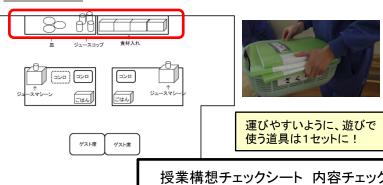
P3参照

内容チェック 教具の工夫(3/4/5/II) P3参照

意欲チェック 教具の工夫(11)

P6参照

自分から準備をしたり、遊びはじめたりするための学習環境の工夫 ポイント2



≪遊びの学習環境をどのようにしようか?≫

- 料理をする場所、お客さんが座る場所など、どこで、 なにをするのかが分かるような場面設定にする
- 子どもたちがぶつからずにスムーズに動けるように 物や活動場所を配置する
- 調理に使う遊び道具は種類毎に分けたり、物の置き 場を子どもと一緒に決める
- 実際に遊んでみて、動きにくい場合は、随時、変更

授業構想チェックシート 内容チェック 学習環境:場面設定の工夫① P. 3参照 意欲チェック 学習環境:場面設定の工夫③ P. 5参照

児童生徒が意欲的に取り組む姿

続けてする、 最後までする姿

- ・次々に活動に取り組んでいる
- 課題が終わるまで取り組んでいる。
- ・時間いっぱい取り組んでいる など

目的や目標を持って 活動する姿

- 何のためにするのかを理解して 活動している
- 自分でがんばることや何をどの くらいするかなどを決めて活動 しているなと

自分から進んで活動する姿

- ・自分で準備をしてはじめる
- ・自分から活動に取りかかる など

友だちと学びあう姿

- ・友だちを見て動くなどまわりを意識して活動する
- ・自分の意見を伝えたり、友だ ちの意見を受け入れたりする
- ・友だちに教えたり、教わったり する など

深く考える姿

- 解決方法を考えている
- ・時間をかけてよく考えている など

自分から進んで活動する姿を基盤にし、 児童生徒一人一人のより意欲的な姿が現れる